

## 公益社団法人沖縄県理学療法士協会 令和5年度定時総会議事録

1. 開催日時：令和5年6月3日（土） 受付 13：30～ 総会 14：00～16：30
2. 開催場所：沖縄リハビリテーション福祉学院 7階講堂（与那原町字板良敷 1380-1）  
Web会議システム（ZOOM）
3. 総会次第
  - (1) 末吉 恒一郎 副会長は開会を宣言し、総会出席へのお礼を述べた。
  - (2) 参議院議員、リハビリテーションを考える議員連盟事務局次長、  
日本理学療法士協会 理事 田中 昌史 先生より挨拶
  - (3) 沖縄県理学療法士協会、小嶺 衛会長より開会の挨拶
  - (4) 日本理学療法士協会、斎藤 秀之 会長よりビデオメッセージによる挨拶
  - (5) 議長及び議事録署名人選出  
司会から議長の立候補を募ったところ議長に普天間順一会員、砂川昌信会員の両氏から立候補があり、参加者からの挙手にて承認された。引き続き、議事録署名人立候補を募ったところ議事録署名人に林敏彦会員、宮城潤也会員の両氏から立候補があり、参加者からの挙手にて承認された。
  - (6) 総会出席者数報告  
議長は本日の出席会員その議決権数の報告を久高将臣事務局長に報告させ、本定時総会の決議事項すべてについて、決議に必要な定足数を満たしている旨を報告した。
    - (1) 正会員数：1,427名
    - (2) 出席正会員：1,066名（出席 37名、議決権行使書 674名、委任状出席 355名）
  - (7) 議事の進行および結果
    - 第1号議案 令和4年度事業報告に関する件
    - 第2号議案 令和4年度収支決算書に関する件  
小嶺衛会長から議案書を基に総括報告が、次いで、久高将臣事務局長より議案書を基に令和4年度事業報告、正味財産増減計算書、貸借対照表及び、財産目録の説明がなされた。  
次いで、「監事監査報告」に関して仲西孝之監事、千知岩伸匡監事の両名より報告がなされた。

砂川議長より第1号議案、第2号議案について会場から質問等を求めた。

第1号議案について

質問：（城間会員）受託事業について。会員の確保や内容、課題など補足があれば詳しく教えてほしい。

返答：（上地事務員より）石垣市より契約金額72万円で依頼があり、検討ならびに理事会審議にて契約が決定した。人員・備品確保等の運用に関しては八重山運営に任せていた。介入結果、効果があったため、再度依頼があった。  
（久高より）事務所と行政間で契約等のやりとりし調整した。八重山支部では人が足りず、特定の会員への負担増えたことが課題となった。八重山支部限定の推進リーダーセミナーを設定し、派遣人材を確保していただいた。

意見：（城間会員）地域と協力した素晴らしい取り組みなので、時間を割いてでも多くの会員に向けて詳しく説明したほうが良い。市が予算を決める段階から関わることができれば事業拡大にも繋がっていくと思う。

質問：（城間会員）高校野球医療サポートについて。事業に関わった会員数は多いのか少ないのか知りたい。少なければ、原因は何なのか聞かせてもらいたい。

返答：（金城理事より）関わった会員は把握しているが、率は確認していない。今後把握したい。目標は全試合サポートだが、会員の所属施設で調整がつかない時期もあり、増減が出てしまった。サポートは施設の理解も必要のため今後の課題として取り組みたい。

意見：（城間会員より）1日単位でのサポートではなく、1試合ごとの対応とすれば、サポートの負担も減るのではないか。また、高野連との年次契約や、他県の契約内容を参考にしてみたらいいと思う。

返答：（當間理事より）コロナ関係で施設より申請許可が下りず、一部サポートスタッフへの負担があった。サポーター養成講習会や学生も関われる機会を設け、興味をもたせることで将来的な活動者を増やせるようにしていきたい。

質問：（安田会員より）学生の関わりとあったが、どのような立場で現場に出ることになるのか。学生が役割を担うことになれば、サポートの質を下げることにもなるのではないか。

返答：（當間理事より）学生の参加に関しては、活動の見学と認識している。また、強制ではなく希望者を募りつつ、学校の許可があれば見学となる。

質問：（安田会員より）県士会からの公文書等の以来はあるのか。また、教員への周知も必要ではないか。

返答：（當間理事より）公文書で案内を行い、周知できるようにしていきたい。

質問：（城間会員より）理学療法月間の報告書に参加者について、議案書へ人数の記載があるが、運営スタッフの人数ではなく、訪れた人数を記載してほしい。公益事業なので、実際訪れた人数を把握することが大事だと思う。実際の来所者数はどれくらいあったのか。そこを把握することで事業の効果がわかるのではないか。

返答：（仲宗根理事より）来場者の把握に関して詳しくは把握できていないが、図書館へのパネルを設置するとともに理学療法士ガイド・リーフレット・ハンドブックなどを置いていたが、384冊ほど捌けていたことは把握している。

質問：（城間会員より）医療英会話について、JPTAから事業受託も行い素晴らしいと思う。外国人のインバウンドに関しては韓国・中国・台湾からが多いと聞いているが、英語以外の言語についての取り組みは何か考えているのか。

返答：（金城理事より）英会話を中心に取り組んでいて、その他の言語は取り組んでいないのが現状。

質問：（城間会員より）英語圏以外の方の対応も考えられる。実際には、英語圏以外でも翻訳アプリを使用することで会話もできている部分もある。

質問：（安田会員より）英語以外の対応ができる会員はどのくらいいるのか。

返答：（金城理事より）今の所、事業部で把握できていない。

意見：（城間会員）医師会にて多言語コールセンターを立ち上げている。情報として共有できれば会員の安心にもつながるのではないか。

## 第2号議案について

質問：（城間会員より）①入会金収益増額について確認したい。①増額は新卒によるものなのか、復会も含めてのものなのか。②研修会収入の減額はどのようになのか。③受託事業の金額増額は何かあるのか。④経常収益の経過について教えていただきたい。

返答：（久高理事より）①令和4年度入会者の内、退会後復会者は4名いた。理由は職場からの保険加入や研修会参加のためと再就職となっている。

返答：（南部理事より）②研修会収入については、オンライン講習会が充実したこと

で、他県士会での講習会参加の会員が増えたことや各支部からの研修会内容のニーズが把握不足であったことが原因と考える。

返答：(久高理事より) ②研修会収入減収についてだが、昨年度は学会参加者が過去最多だったにも関わらず収入減少している。令和3年度はオンライン講習会が多かったが、令和4年度は対面研修開催になったことが参加総数減による収入減につながったと思われる。

返答：(久高理事より) ③受託事業金額増額について。県の事業は地域支援事業等市町村支援アドバイザー事業と多職種ケアマネジメント基盤強化促進事業の二つで令和3年度よりも50万円増額。その他には座間味村地域リハビリテーション活動支援事業で760,000円。石垣市一般介護予防普及啓発事業で720,000円となっている。

返答：(久高理事より) ④経常収益の経過について。平成25年頃は約1,300万円で入会金および会費収入が74%だった。平成29年の会員数が1,500名となり、令和4年度まで受取入会金および正会員受取会費が1,500万円弱と収益が一定となった。平成29年は西原町と浦添市、平成30年より沖縄県より事業受託を行い、経常収益の40%を占め、会費とともに主な収入源となってきた。

意見：(城間会員より) ①の返答について、協会入会による賠償保険が受けられるメリットについてアピールした方が良い。③受託事業に関しては、県民へのアピールとなるし、メインの収益ともなるため今後もしっかり継続してほしい。また、受託事業のみに頼るのではなく、研修会費の増額も収入源として見直していく必要があると思われる。

質問：(城間会員より) 人件費の総額について。金額は妥当なのか、また今後増えていくのか教えてほしい。

返答：(久高理事より) 事務所機能強化のために雇用を増やしたが、事務員の入れ替わりがあるとリセットされてしまう。事務所内で役員がいた方がよいと思っている。事務員増ならびに事務長を設置したことで人件費が270万から800万へと増額しているが、事務員人件費率は3割弱、管理費は2割となっている。今後、当協会の安定的運営のため外部事業受託等を増やしたいと考えており、そのためにも事務局機能強化を図りたいと考えているが、どの位の人件費率が妥当なのかを判断しかねている。ご意見があれば聞きたい。

意見：(城間会員より) 事務局機能強化のためにも就業規則の整備を急ぐ必要があると思うが、そのための予算は確保しているのか。さらにキャリアアップや雇用形態の安定などにつながるためには大事になってくる。

質問：(城間会員) ①消耗品の減額はどうか。②諸謝金の増額はいいことだと思うが、事業における比率の目安はあるのか。③当期経常増減額のマイナス200万は今後どうなるのか。④期末残高が約240万減額しているが、運転資金を見越した残高と見ていいのか。⑤特定資金積立金額についての目標額について示してほしい。事務所移転積立は妥当な額か。不動産評価から算出した方が現実的ではないか。事務所移転費は10年後と決めないで移転するときにはしっかり資金があるように貯蓄していたほうがよいと思う。⑥財産目録について、立替金として個人の金額としては大きく不安がある。市町村事業であるならば、契約上の解決策があるのではないか。

返答：(久高理事より) ①消耗品費へ割り当てられていた内容を見直したため減額となっている。②諸謝金の事業における比率の目安を立てるため情報収集を行いたい。③徐々に事業活動が戻ってきたことから、令和6年度の50周年記念事業実施のため積立額を増額したことによるものである。④ご指摘の通りです。

- ⑤特定資産積立金に関しては、特定資産取扱規定を整備した。50周年記念事業積立金は4,456,000円で令和4年度にて積立限度額達成となる。国際協力・調査・情報収集事業積立金はJPTA受託事業による収益の公益事業目的を特定して予算執行するために1,000,000円を限度額として単年度で積立限度額となった。事務所移転費用準備資金については、一昨年度の移転に伴う費用を根拠に2,370,000円を限度額として積立を開始した。県にも確認・相談しながら進めていく。
- ⑥事務局長として申し訳なく思う。今後、立替金は月末締めに対応で進めていく。

砂川議長より採決を求め、

第1号議案 賛成 1,064個、反対 2個

第2号議案 賛成 1,062個、反対 4個

いずれも賛成多数にて承認された。

第3号議案 令和5年度事業計画に関する件

第4号議案 令和5年度収支予算に関する件

小嶺衛会長にて議案書を基に総括計画の説明ならびに、各局より事業内容に関し議案書を基に令和5年度事業計画の説明が行われ、続いて久高将臣事務局長より、令和5年度収支予算書の説明がなされた。

砂川議長より第3号議案、第4号議案について会場から質問等を求めた。

第3号議案について

質問：(安里会員より) 収入について。会費収入だけではなく、会費以外の収入を増やすと、研修会費が安くなったり、野球のサポート報酬を上げたり会員に還元できると考える。収入を増やす方法と会員のワークライフバランスについて計画があれば伺いたい。

返答：(久高理事) 事業収益については、受託事業を複数受けることで増やすことで確保しており、現時点で宮古支部からも相談がある。それ以外のアイデアはないので会員からの意見も伺いたい。まずは市町村の受託事業から進めていく。

意見：(安里会員より) 年休が使用できないフリーランスのPTの意見として、県士会の事業を会員として受ける際に得られる報酬に魅力は感じないので、ぜひ収益増加を図り、検討してほしい。

質問：(城間会員より) 重要政策について①昨年度からの継続事業についての達成率・プロセスがあれば会員に伝わりやすい。行政の仕組み(KPI)を参考に見ては。②政策提言について、いつ・どこで・だれに・対するかを把握していないと計画がたてられないのではないかと。③支部運営について、目標・参考にする市町村を示してもらえたら各支部の活動の目安になるのではないかと。

返答：(小嶺会長より) ①継続実施している事業に関しては、ご指摘の視点で公表できるようにやっていきたい。②政策提言に関しては、ご指摘にあったことを整理し、優先順位をつけていきたい。③参考にする支部については支部間の連携を取りながら横の繋がりを築けていけたらと思う。

意見：(城間会員より) ②の政策提言については資料がある。沖縄県の医療計画についても以前12項目について沖縄県に提言をしているし、その中のいくつかは実際に達成できている。繰り返し提言していくことでこちらの声も届くと思う。また、県への提言書を元に市町村への提言としても参考にできると思う。

③先進的な活動を行なっている支部に予算確保することで、活動的になる部分

もあるので、検討してほしい。

意見：（池城会員より）重要施策の中の組織率向上について。休会や退会が数年でみられている中で、5年・10年目の会員に対しても手厚くしてもらおうようなことができれば、若手会員の休会・大会も減るのではないか。

返答：（小嶺会長より）実際に5年目・10年目などの比較的若い会員に対して何かできないか検討している。表彰委員会の他に検討できる機会を作れるよう考えていきたい。

#### 第4号議案について

質問：（城間会員より）予算に対して要望。令和4年度の役員研修は1回しか実施されていないが、今年度も計画・予算されているのか。事務局機能強化が重要とあったが予算に反映されているのか。他の都道府県に研修だけでなく、先進地視察を行うなどして予算化してはどうか。

返答：（久高理事より）補正予算として理事会に提出したい。事務局機能強化についてはJPTAや福岡県士会と相談しており、事務員研修に向けて具体的な強化内容について検討していきたい。

砂川議長より採決を求め、

第3号議案については、賛成 1,062 個、反対 4 個

第4号議案については、賛成 1,061 個、反対 5 個

いずれも賛成多数にて承認された。

#### 第5号議案 定款細則変更に関する件

久高事務局長にて議案書を基に定款細則変更について及び、各項目の詳細についての説明がなされた。

普天間議長より 第5号議案 に関して会場から意見を求めた。

質問：（城間会員より）施行日はどうするのか。

回答：（久高理事より）事務局の提案として令和5年6月3日にしたい。

普天間議長より採決を求めた。

第5号議案については、賛成 1,062 個、反対 4 個

いずれも賛成多数にて承認された。

普天間議長より 第6号議案 その他 に関して会場から意見を求めた。

質問：（安里会員より）総会の議事録などもHPで確認できることで会員も当事者意識を持つ事ができるのではないかと思うので検討して欲しい。

返答：（上地事務員より）HPに掲載されますので、ぜひ確認してもらいたい。わかりやすくできるよう善処します。

普天間議長から、令和5年度定時総会のすべて議案について承認が得られたことが告げられた。

(8) 閉会宣言を立津統副会長より述べられた。

上記議事ならびにその結果を明確にする為、この議事録を議長、議事録署名人の記名押印を下記に記す。

令和5年6月3日(土)

公益社団法人沖縄県理学療法士協会 令和5年度定時総会

4. 議長および議事録署名人ならびに議事録作成者

議長 普天間 順一 砂川 昌信

議事録署名人 林 敏彦 宮城 潤也

議事録作成者 大宜見 直輝

5. 出席理事ならびに監事

会場出席理事 小嶺 衛 末吉 恒一郎 立津 統

久高 将臣 平良 雄司 当真 祐二

仲宗根 美紀 當間 智史 比嘉 俊文

宮里 由乃 玉城 すみれ 金城 良和

武富 新太郎

監事 仲西 孝之